

氏名	村井美代	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	細菌学、細菌遺伝学				
学位	博士(医学)				
学歴	1986年お茶の水女子大学大学院理学研究科修士課程修了				
経歴	1987年東京慈恵会医科大学医学部細菌学教室助手、1999年埼玉県立大学短期大学部衛生技術学科講師、2005年埼玉県立大学健康開発学科准教授				
所属学会(役職)	日本細菌学会、日本臨床検査学教育学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	Molecular mechanisms of <i>Streptococcus pneumoniae</i> -targeted autophagy via pneumolysin, Golgi-resident Rab41, and Nedd4-1 mediated K63-linked ubiquitination	共著	Cellular Microbiology. 2018; e12846.	Ogawa, M, Matsuda, R, Tomokiyo, M, Takada, N, Yamamoto, S, <i>et al.</i> (21人中12番目)	2018年8月
2	<i>Legionella pneumophila</i> and Other <i>Legionella</i> Species Isolated from Legionellosis Patients in Japan between 2008 and 2016.	共著	Applied and Environmental Microbiology 84(18)	Amemura-Maekawa J, Kura F, Chida K, Ohya H, Kanatani JI, <i>et al.</i> (13人と1グループの12番目)	2018年9月
3	グラム陰性菌のリポ多糖の構造と合成経路の多様性— <i>Legionella pneumophila</i> の遺伝子検査による血清群別に向けて—	共著	保健医療福祉科学 2018 8巻	中植竜大、前川純子、村井美代	2019年3月
(3) 学会発表					
1	大学生における口腔保健行動、呼吸法、鼻腔と咽頭の黄色ブドウ球菌保菌の追跡調査	共著	第13回日本歯科衛生学会、福岡	○田野 ルミ、村井 美代、三浦 宏子	2018年9月
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	黄色ブドウ球菌の咽頭保菌の実態解明および口腔保健行動による除菌の検討、研究代表者			2018-2021年
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	微生物学概論	2018.4.-6.	オリジナルのPowerPointスライドを用いて、人々の健康を支える微生物や、消毒・予防接種といった微生物感染症を制御するための基礎的知識についての講義を行った。知識の定着を図るため、学生が自ら講義内容をまとめ、質問や感想を記載するためのプリントを用意し、講義終了後に提出させた。(科目責任者、全コマ担当)		
2	分子細胞生物学	2018.10-2019.2.	オリジナルのPowerPointスライドを用いて細胞生物学および分子生物学の基礎を解説した。授業の最後に課題を出して提出してもらい、翌週評価を返し解説することで、授業内容の定着を図った。(科目責任者、13コマ担当)		
3	微生物学	2018.4.-8.	オリジナルのPowerPointスライドと穴埋め式の配布プリントを作成し、微生物学の基礎から感染機構まで解説した。授業の最後に課題を出して提出してもらい、翌週評価を返し解説することで、授業内容の定着を図った。(科目責任者、全コマ担当)		
4	臨床微生物学	2018.4-8.	嫌気性菌及び真菌についての講義を担当した(科目分担者、2コマ担当)。		

5	医療安全管理学	2018.1	医療関連施設における標準予防策および感染経路別予防策について、実例を挙げて講義した。(科目分担者、1コマ担当)
6	病因病態検査学	2018.6.	感染症分野における講義を担当、病原体検出のための遺伝子検査に関わる最新トピックスを紹介した。大学院講義。(オムニバス講義、4コマ担当)
(2) 演習			
1	臨床微生物学Ⅱ	2018.10.-11.	培養期間が長い抗酸菌検査および迅速検査としての臨床検体のグラム染色の実技指導を行った。(科目分担者、科目責任者と2名体制で8コマ担当)
2	検査総合演習Ⅱ	2018.12.	国家試験に向けて、微生物学分野の過去5年分の出題傾向の分析を行った。(科目分担者、2コマ担当)
(3) 実習			
1	ヒューマンケア体験実習	2019.9.(集中開講)	2施設、11人の学生を担当した。(科目担当者)
2	微生物学実習	2019.1.(集中開講)	オリジナルの実習テキストを作成して実施した。無菌操作、グラム染色などの基礎技術が身につくよう1人1人個別指導を行った。また自己検体から細菌を分離同定する一連の流れを体験させ、3年時に行われる臨床検体を想定した分離同定検査へとつなげた。(科目責任者、科目分担者と2名体制で全コマ担当)
3	臨床微生物学実習	2018.7.(集中開講)	一人一人に、異なる細菌を含む臨床検体を想定した模検体を配布し、自力で分離同定検査が進められるように指導した。(科目分担者、科目責任者と2名体制で全コマ担当)
4	遺伝子・染色体検査学実習	2018.6.	感染症分野の遺伝子検査実習として、遺伝子検査の利点である迅速性を理解することを目的に、細菌の分離培養を経ずに、自己検体から抽出したDNAを用い常在細菌の遺伝子を検出させた。(科目分担者、6コマ担当)
(4) 論文指導			
1	卒業研究	2018.4-2018.12	検査技術科学専攻4年次生6名を指導した。研究テーマ:黄色ブドウ球菌の2つの異なる遺伝子型別法の対応(1名)、黄色ブドウ球菌の保菌調査(1名)、検体から抽出したDNAを用いた黄色ブドウ球菌の遺伝子型別(1名)、MRSAのSCCmec遺伝子型別(1名)、 <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> のキノロン耐性遺伝子の検討(1名、岸井准教授との共同研究)、 <i>Legionella pneumophila</i> の遺伝子型別(1名、国立感染症研究所との共同研究)。
2	修士課程	2017.4-2019.3	指導補助教員として博士前期課程2年の学生を1名指導した。研究テーマ: <i>Legionella pneumophila</i> の血清群別を目的としたPCR法の開発(国立感染症研究所との共同研究)
(5) その他			
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教育開発委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		